

平成 23年 12月 15日

上田市長 母袋 創 一 様

上田中央地域協議会  
会長 小林 正 幸

意 見 書

上田市地域自治センター条例に基づき、下記のとおり上田中央地域協議会の意見を提出します。

記

1 件 名	市街地の公衆トイレの整備に関する提言
2 意見内容	<p>上田中央地域協議会では、地域まちづくり方針に掲げる「新市の核となる都市機能の充実と中心市街地の活性化」に向けて、多くの観光客が訪れ多くの皆さんが利用する中心市街地の公衆トイレについて、実際に現地を調査確認し、その観光地の印象を決定付けるトイレの適正配置や望ましいあり方を検討してまいりました。</p> <p>観光立市に向けてトイレの充実は不可欠であり、多くの皆さんに利用され、地域の人に愛される「日本一きれいな公衆トイレがあるまち上田市」の実現のために、下記のとおり提言いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>提言 1 上田市の目指すトイレ像について 【整備指針の策定】 提言 2 現状施設の改修・撤去について 【イメージアップに向けて】 提言 3 維持管理体制の見直し・充実について 【清潔さ追求のため】 提言 4 利用者への情報発信について 【トイレ情報は観光の要】 提言 5 民間施設活用や市民参加の取組について 【市民参加でクリーンアップ】</p> <p>以上、具体的内容につきましては、別紙「市街地の公衆トイレの整備に関する提言」のとおりです。</p>

# 市街地の公衆トイレの整備に関する提言

上田中央地域協議会

平成23年12月15日

## 1 はじめに

トイレは日常生活を送る上で必要不可欠な設備であり、旅先や外出時にトイレが見当たらずに不自由をした経験は多くの人を持っていると思われます。

しかしながら、トイレは「御不浄」とも呼ばれ、親しみを持って接することはあまり無いように感じられます。

また、トイレの宿命とも言える「臭い」、「汚い」に加え「暗い」、「怖い」、「壊れている」といった負のイメージを見事なまでに具現化しているトイレに遭遇したこともあるのではないのでしょうか。

こうした中、幅広く市民が利用する「公衆トイレ」には、清潔で快適に使用できる施設整備が求められることから、まちづくりの重要課題と位置づけ整備指針を策定するなどして取組を進めている自治体もあります。

一方、上田市のトイレ行政は、観光都市として捉えてみても十分とは言えず、夢・期待をふくらませ城下町「上田」に来ていただいた皆さんも、トイレに入った瞬間、思わず息を止めてしまう状況が目に見えてしまいます。

このような状況を早急に改善し、利用者、生活者の視点に立ち、まちなみの一部となるような公衆トイレを整備することが急務であります。

新市の核となる都市機能の充実と中心市街地の活性化に向けて、清潔で快適な生活環境を構築するとともに、誰もが安心して利用できる「日本一きれいな公衆トイレがあるまち上田市」を目指すことが必要です。

## 2 公衆トイレの現状

### (1)上田中央協議会検討経過

調査、協議は以下の日程で行いました。

全体会 8回 (6/14～11/24)

分科会 6回 (6/29～11/24)

うち市内公衆トイレ現地調査 1回(7/25)(7/26)

うち長野市・小布施町現地研修 1回(10/5)

## (2)上田中央地域内の公衆トイレの評価

市内の各トイレの状況を的確につかむため、又、優良施設と思われる他市のトイレとの比較検討を行うため以下のとおり現地調査を実施しました。

### ア 調査方法

調査施設：地域内の12箇所のトイレ(次頁及び別紙1参照)

調査員：男性委員5名が男性トイレを女性委員5名が女性トイレを評価

評価項目：下記5項目(親しさ・安全さ・清潔さ・優しさ・管理のし易さ)

(評価項目と着眼点)

項目	親しさ	安全さ	清潔さ	優しさ	管理し易さ
着 眼 点	・愛される	・暗い(K)	・汚い(K)	・親子連れ	・故障(K)
	・地域の人にも	・怖い(K)	・臭い(K)	・お年寄り	・清掃し易い
	・くつろげる	・狭い	・落書き	・障害者	・連絡先明記
	・利用がある	・不用物	・換気設備	・物置たな	・不用物
	・景観	・段差等	・花や装飾	・手すり等	・周辺環境

評価点数：各項目各5点満点で採点

「清潔さ」については(トイレ)と(手洗場)の2箇所について採点

施設評価：1施設30点満点方式で男女平均をとって算出

評価基準：相対的判断でなく、客観的に一市民の目線で、その場にふさわしいトイレを5点とし、0～5点で判定

### イ 調査期間

現地調査は、7月25日(月)午前中と問題の見られた箇所はその翌日26日(火)夕方にも確認を行いました。

### ウ 調査結果

調査の詳細結果は、別紙2「現地調査チェック表」のとおりであります。この結果から男女とも誤差はありますが、同じ施設では概ね同程度の評価となり、20点以上の概ね合格点の施設と10点以下の早期に何らかの改善が求められる2つのタイプの施設があることが判明しました。

最も点数が高かったのはやぐら下の公衆トイレで26.2点、最も点数が低かったのは原町の公衆トイレで6.0点です。なお、上田城跡公園内の二の丸橋トイレは20.3点であり、上田城(上田市)の顔ともいべき要のトイレですので何らかの工夫が求められます。

(注)上田駅お城口トイレは平成23年度リニューアル工事中のため対象外

(各施設の評価の結果)

(30点満点)

施設名	上田駅温泉口トイレ	信濃国分寺駅トイレ	大屋駅トイレ	上田城跡櫓下駐車場	上田城跡二の丸橋	上田城跡テニスコート裏
所管課	管理課	管理課	管理課	公園緑地課	公園緑地課	公園緑地課
男子トイレ	26.2	22.2	22.2	24.0	19.0	23.4
女子トイレ	24.0	25.4	25.0	28.4	21.6	25.2
平均	25.1	23.8	23.6	26.2	20.3	24.3
掃除回数	3回/日	1回/日	1回/日	1.5h/日	3.0h/日(公園内4カ所で)	

お祭り・イベント時を除く通常日

施設名	海野町公衆トイレ	原町公衆トイレ	横町伊勢宮公衆トイレ	常田公衆トイレ	観光会館1階トイレ	千曲川パイオトイレ
所管課	生活環境課	生活環境課	生活環境課	生活環境課	観光課	体育課
男子トイレ	20.2	7.6	9.6	9.8	21.2	14.2
女子トイレ	22.8	4.4	7.8	8.8	29.8	9.0
平均	21.5	6.0	8.7	9.3	25.5	11.6
掃除回数	1回/日	1回/週	1回/週	1回/週	1.5h/日	数回/月

### (3) 施設及び管理の状況

上田市中心部地域管内のトイレは、[別紙3](#)「設備基本情報」に示すとおりとなっており、所管や管理の方法も様々であります。

また、日常の管理が別々の担当課であるため、地域内における適正な配置や施設の問題点について情報の共有もできていない状態となっていると思われれます。

#### 都市建設部管理課所管トイレ

上田駅お城口トイレ 上田駅温泉口トイレ 信濃国分寺駅トイレ 大屋駅トイレ  
駅のトイレは、非常に多くの方が利用することもあり、上田駅お城口トイレにおいて本年改修工事が行われリフレッシュされたところではありますが、以前からいたずらが

報告されていて、大屋駅の案内板も壊された状態にあります。損壊しにくい設備を設置する工夫や施設をきれいに保つための工夫が必要と考えられます。



上田駅では1日3回、また大屋駅と信濃国分寺駅では、1日1回の清掃しか行われておらず、利用者の心がけによって清潔さが保たれている状況です。

説明文が何らかの方法で切り取られた状況 H23.10

### 都市建設部公園緑地課所管トイレ

上田城跡公園内の公衆トイレは、公園緑地課の所管となっており利用される皆さんのマナーによって清潔さが保たれている状況です。

#### 公園内の市営プール入口のトイレ

平成12年に整備され新しくきれいな状態ではありますが、公園内の看板や上田駅前の看板にもこのトイレの位置が表示されておらず、目に付きにくい(利用しにくい)といったことが考えられます。

#### やぐら下の駐車場のトイレ

便器の数も多く、非常に多くの方が利用されています。入口には喫煙所とベンチが設けられており、一息つける場所ともなっています。



### 市民生活部生活環境課所管トイレ

原町のトイレ 横町伊勢宮のトイレ 常田の東部地区防災センター前のトイレ

昭和50年代に整備されたこれらのトイレは、老朽化が著しく利用者も限られていて市の印象を壊している状態にあります。いずれも地元以外の方には一見すると気

付かない目立たない場所にあります。これらは、「汚い」から「利用者が少ない」そして「利用が少ないから清掃も少ない」、よって「イメージが悪いから使わない」と負の連鎖に陥ってしまっています。実際、現地調査に訪れた際も、清潔と言えない状況が散見されました。

清掃は、市職員により週 1 回行われており、男性と女性のトイレは分離されていないため、女性にとっては「安心感」はありません。



原町公衆トイレ

#### 海野町公衆トイレ

海野町商店街振興組合が管理する海野町駐車場のトイレは、商店街利用者に主に利用されていますが、本通り側のアーケードからのトイレの目印はなく、地元(市内)の人以外には気づきにくい状況にあります。清掃は組合に一任されています。

---

#### 教育委員会体育課所管トイレ

##### 千曲川市民緑地公園バイオトイレ

上堀グラウンドにある千曲川バイオトイレについては、施設内のトイレの数が限られており(男女1ヶずつ)、清掃回数も月数回程度で利用者のマナーの向上、啓発が求められます。手洗場の位置もわかりにくくなっています。

---

上記のほかにも、市役所庁舎や上田市観光会館、池波正太郎真田太平記館、パレオビルのトイレなどの公共施設のトイレや海野町会館、上田商工会議所のトイレも市民トイレ( )として開放されていますが、これらのトイレはいずれも夜間から翌日朝にかけての利用はできない状況となっています。

#### 市民トイレ

トイレの所有者・管理者が年間を通して一般市民にトイレを開放した市民が気軽に利用できる施設のこと。市から一定の謝礼金が支払われている。

## (4) 先進地の取組事例

トイレについては、国際観光文化都市やオリンピックなどの開催都市では多くの外国人や観光客が訪れることから、様々な取組が以前より行われトイレ環境の向上に向けて整備検討がなされています。県内でも国際観光文化都市に指定されている軽井沢町やオリンピック・パラリンピックが開催された長野市などでは、利用しやすいトイレの整備や多くの施設管理を行っており、現地視察研修を実施しました。また、全国の参考となる事例についても研究を重ねてまいりました。

以下に先進地の取組事例を挙げました。

- ・整備指針の作成。(東京都、新宿区、港区、長野県)
- ・ネーミングによる親しみやすさの演出。(長野市、飯山市、中野市、小布施町)



前頁の同様の採点で28.4点の評価のトイレ

【霧の川中島：長野市】

- ・案内看板の統一。(長野市、東京都)



【歩行者から一目で分かる統一された案内版：長野市】

- ・HP、ちらし、トイレマップ等による情報提供。(京都市、八王子市、鎌倉市、長野市)

- ・有料トイレによる意識の向上。(秋葉原、品川駅、軽井沢、富士山、海外)
- ・企業や商店街との協働による取組。(豊島区とげぬき地蔵通り商店街、多摩ENEOS、りそな銀行立川支店、ローソン新川一丁目店) 誰でも入れるトイレ
- ・市民団体のボランティアによる清掃活動。(山ノ内町、小布施町)

### 3 日本一きれいな公衆トイレがあるまち上田市の実現に向けて

#### 提言 1 上田市の目指すトイレ像について

今回の各施設の評価結果からも明らかなように、上田市の市街地の公衆トイレは十分とは言えず、既存のトイレは老朽化が目立っています。「昔からあそこのトイレは汚いから」、それが当たり前の市民感覚になって今日に至っています。

市街地のまちなみの一部となるような公衆トイレがある清潔で快適な生活環境を実現し、市民や今後更に増加すると見込まれる来訪者が安心して利用できるトイレの整備を進めることを提言します。

また、以下の提言に示す直ちに実行が必要な工事等と平行して、適正配置や上田市としての望ましいトイレのあり方について長期的な視点に立ち、整備指針を策定することを提言します。

なお、整備にあたっては、2ページに示した5つのポイントに配慮したトイレを基本とし、「親しさ」、「安全さ」、「清潔さ」、「優しさ」、「維持管理のしやすさ」を兼ね備えた施設づくりを目指すとともに、身障者や親子連れのように付き添う方も同時に入ることが可能な多目的トイレを増やしていただきたい。

また、トイレに入るまでのアプローチ(スロープ・手すり等)にも配慮をお願いしたい。

更に、施設完成までには一定の時間が必要であるため、今すぐできる改善、予算をかけなくてもできる改善を直ちに検討し、まずそこから始めていただきたい。

## 提言 2 現状施設の改修・撤去について

### 【改修施設】

#### 「原町公衆トイレ」

回遊性のある観光路線としてウォーキングトレイルルートにも案内されている地点で、最も北部に位置する「原町公衆トイレ」中央3丁目交差点付近については、柳町の街道に向かう玄関口としてまた休憩地点としてもトイレの需要があるなか、現状施設は衛生的にも感覚的にも二度と入りたくない施設と言えるほどおもてなしの见えないトイレでありますので、早急に施設の改修を行うよう中央地域最優先課題として提言します。

#### 「上田城跡二の丸橋公衆トイレ」

市民会館入口付近に位置するこの場所は、多くの利用者があり遠方からのお客さんも利用されているとともに、市民会館へ来られる方の利用もあります。イベントの際は、手洗場を含めて狭隘施設となっており、入り口で列をなして順番を待つこともあります。

現在、史跡上田城跡整備実施計画検討委員会において改修に向けた検討がなされていますが、いろいろな皆さんが訪れることを念頭に、多目的トイレの充実及び史跡にマッチした観光都市にふさわしい設備と外観となるよう配慮していただきたい。また、整備完了までの改善事項として、手洗場の自動水洗化と利用される方へのおもてなしの配慮（花を添えたり気持ちがかもった注意書き文章の検討）を提言いたします。

上記改修にあたっては、外観に配慮し、安心して出入りできる施設とするとともに、長野市や飯山市のようなトイレのネーミングを検討するなど愛着の持てる施設となるよう完成後は利用に向けた情報発信を工夫していただきたい。

### 【撤去施設】

#### 「横町伊勢宮公衆トイレ」

横町公会堂付近については、落書きが目立ち、臭気も改善されておらず、維持管理にあまり重点が置かれていない状況と思われます。現状では男女の区別もなく「安心」感ありません。これらの施設を残す場合、市のイメージダウンはもとよりせっかくの観光地のイメージが台無しになってしまうことは明らかです。海野町公衆トイレや健康プラザうえだといった周辺地域にもトイレはあり、現状施設は改修より撤去することを提言いたします。

#### 「常田公衆トイレ」

東部地区防災センター付近については、施設の存在自体が知られていない状況にあり、現地では雑草が目立ちトイレトーパーもなく、不用な荷物も放置されています。現状施設は水洗化はされていますが、観光都市にふさわしいトイレとは程遠い施設であり、この場所での必要性は将来的にもないと考えられます。今後、トイレの維持管理を続けるのではなく直ちに撤去することを提言いたします。

撤去にあたっては、地元の自治会や地域住民の合意が不可欠と思いますが、現状を十分説明のうえ理解が得られるよう、トイレのあり方の将来像（整備指針の中でどこが必要でどこが不要かについて）を検討しておく必要があります。

#### 【その他の施設】

上記のほか、調査によって判明した問題箇所や要望等を記載した別紙4施設毎の集計表を添付しましたので、今後の参考にしていただきたい。

### 提言3 維持管理体制の見直し・充実について

現在、上田市のトイレ施設は、設置時の担当課によってその後の管理がそのまま継続される状況にあります。所管課がトイレを管理していくことは、施設にあった管理方法や緊急時の対処方法など理由があると思われますが、観光都市としての利用者の視点からの公衆トイレを考えた場合、維持管理体制の一元化を提言します。

## 【理由】

市の施設全体が見渡せないとサービスや対応が限定的になってしまうこと。

どこに問題があってどこから改善すべきかの優先順位がはっきりしないこと。

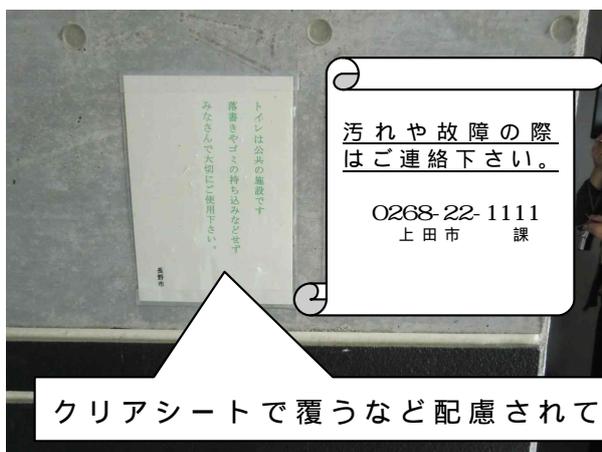
市街地全体のトイレの整備を計画的に進めていく必要があること。

なお、公園施設や文化財施設等、各課に整備の際に施設整備に伴う補助メニューがあることもふまえ、設置の際の所管は各課とし、その後の管理及び小規模修繕等については一元化することを提言します。

また、トイレは清掃を行った時間と次の清掃が行われるまでの時間帯は、どんなにこまめに掃除をしても汚れてしまうことから、利用者が「汚した場合は自らきれいにしましょう」という場づくりや「いつも綺麗に使っていただきありがとうございます」( )といった表示などを掲示し、さらにそれでも汚れが目立つ場合や故障時には必ず連絡先や管理者名を明記した表示を行うことを提言します。

「認知的不協和理論」人は自分の認知に従おうと行動します。

トイレが汚れたときに人は不快感を覚えます。そして、不快感を解消するために認知を変化させます。いつも汚いだから、汚しても問題ないと自分を納得させます。これが、これまで使われていた『トイレは綺麗に使いましょう』のときに起こっていた心理です。最初に、いつもキレイであると植えつけられれば、そうでないと不協和が起るので、最初から綺麗に使おうと思い、汚した場合も綺麗にしてからトイレを出て行くことになります。これが、『いつもキレイに使っていただきありがとうございます』のときの心理です。ただし、これとは関係なく、トイレを綺麗に使う人もいますし、汚しても気にしない人もいます。



なお、連絡を受けた場合には、担当者が現場で対応をするか、委託先へ連絡して最も短時間で解決できる対応策を検討し、実行する必要があります。

【設置例】

クリアシートで覆うなど配慮されている例



唯一、連絡先が書かれていた施設 (ガムテープ？斜め？内容も検討を)

上田城跡公園二の丸橋公衆トイレ

#### 提言 4 利用者への情報発信について

市街地には、上田駅をはじめ多くの公衆トイレが設置されています。また、市民トイレ(民間のトイレ)も利用することが可能です。しかしながら、これらのトイレに関する情報が少なく存在自体が知られていない状況にあります。

市のホームページにも、子育て支援の観点から(児童)公園の情報の中にトイレ情報を掲載しているサイトがありますが、市街地全体を網羅した情報はありません。

また、トイレ情報を掲載したトイレマップ等を整備する観光都市もありますが上田市にはありません。更に、観光マップや既存の看板にも正確なトイレ情報が載っていない場合があります、情報発信が十分ではありません。

そこで、まずは既存施設の情報をホームページ等に判りやすく掲載し、市街地を訪れる皆さんに発信していくとともに、新規に制作する観光マップ等にはトイレの情報も

併せて掲載していくよう提言いたします。

また、トイレの場所が分かりにくい場所にあり、地元の人しか利用が出来ないようなトイレも見受けられます。これらの施設に外部から一目で分かる観光都市上田にふさわしい公衆トイレのサイン(看板や歩道上のペイントなどによる誘導)を設置するよう提言いたします。

## **提言 5 民間施設活用や市民参加の取組について**

### **民間施設の活用**

市街地には多くの公共施設が設置されていますが、いずれも夕方の閉館時間になると閉鎖されたり、利用ができなくなってしまい、時間を気にせず利用できるトイレが限られてしまいます。そこで、多くの皆さんが訪れるイベント時などにおいては、トイレの需要がさらに高まることから、コンビニエンスストアやガソリンスタンド、ファミリーレストランなどの商業施設との協力・連携により「だれでもいつでも利用できるトイレ」の確保に向けた研究を進めるとともに、市民トイレ制度の積極的な活用推進を目的に PR 方法や参加方法を更に検討し、利便性を向上させていくことを提言します。

### **市民参加による取組**

また、今後更に多くの来訪者がある場合を想定し、上田市のトイレ環境はすばらしかったと言える市民参加と協働によるまちづくりを進めるため、地元の地域の皆さんとの連携を検討したり、市民の一人として清潔に保つための方策の検討や意識付け、あるいは「トイレの日」などを定めボランティアによる市民参加トイレ清掃イベントを企画するなど市民のアイデアを発信・実行していくことが必要です。